

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

|           |  |        |  |
|-----------|--|--------|--|
| 附属機関等の名称  | みよし市食育推進会議   |        |  |
| 開催日時      | 令和4(2022)年6月24日(金)<br>午後3時から午後4時まで   |        |  |
| 開催場所      | サンライズ2階 研修室兼軽運動室1～3  |        |  |
| 出席者       | <p>【会長】酒井副市長</p> <p>【委員】加藤知子委員、小野田加代子委員、竹谷明永委員、根岸さなえ委員、青木正也委員、浦野秀敏委員、奥村真由美委員、辻有記衣委員、堀本さなえ委員、増岡美菜子委員、花園優委員、野田一弘委員、小川雄二委員、兼平奈奈委員、増岡庶委員</p> <p>【助言者】藤田俊助言者、杉原孝子助言者、近藤貴子助言者、中川葉菜子助言者</p> <p>【事務局】成田環境経済部長、原田環境経済部次長、岡本副主幹、出口主事、藤森健康推進課長、星野主事、岩崎副園長、松永主任主査、豊田加茂農林水産事務所農政課鈴木技師</p> |        |  |
| 次回開催予定日   | 令和5(2023)年6月頃  |        |  |
| 問合せ先      | 環境経済部産業課 岡本・出口<br>電話 0561-32-8015(直通)<br>メール sangyo@city.aichi-miyoshi.lg.jp   |        |  |
| 下欄に掲載するもの | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">議事録全文</span></li> <li>・ 議事録要約</li> </ul>   | 要約した理由 |  |
| 審議経過      | 別紙会議録参照  |        |  |

|      |   |
|------|---|
| 原田次長 | <p>皆さんこんにちは。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>時間より少し前ですが、ただいまから、みよし市食育推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>初めに、礼の交換をいたします。ご起立をお願いいたします。一度礼。御着席ください。</p> <p>申し遅れましたが、私は本日の会議の進行を務めさせていただきます、4月に異動してきました。産業課長の原田と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の会議は、みよし市食育推進会議条例に基づいて開催される会議です。また、みよし市付属機関の設置及び運営に関する要綱第6条に基づき、会議はすべて公開となりますので、あらかじめご了承ください。なお、傍聴者はおられません。</p> <p>それでは、お手元の会議次第により進めて参りたいと思います。初めに次第の1、委嘱状の交付をさせていただきます。本来であれば、お一方ずつお渡しするところですが、時間の都合上、机上交付とさせていただきますので、ご了承ください。なお、委嘱状に記載の任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までとなっております。よろしくお願ひいたします。</p> <p>続きまして、本推進会議の会長であります、副市長の酒井からご挨拶を申し上げます。</p> |
| 酒井会長 | <p>改めまして、こんにちは。本日は公私ご多忙の中、みよし市の食育推進会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。私が紹介にありました通り、当会議の会長で副市長の酒井喜一でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、今年度は食育推進計画5ヵ年の計画年の4年目ということで、計画の終盤の年ということになるかと思ひます。またそういったことで一層の取り組みをしていただいているところと思ひしております。</p> <p>現在新型コロナウイルス感染症の拡大ということでそれを防止しながら、例えば、本市といたしましても、ここ2年間、中止をしておりました各イベント等を一定の配慮をしながらやっていくというような基本的な考え方も、市として進めているところでございます。そうした中で、どのような方向なら実施可能なのかということを探しながらですね、食育推進計画の取り組みを継続しているところでございます。皆様のご協力をお願い申し上げて、冒頭の挨拶に代えさせていただきます。</p>  |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>原田次長</p>  | <p>どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>ありがとうございました。本日の会議の出席委員は15名であります。条例第7条第3項の規定による過半数に達しておりますので、本日の会議は成立をいたしております。また、事前に委員の荘田様、新谷様からご欠席のご連絡を頂戴しておりますので、ご報告をいたします。</p> <p>議事に入る前に、お手元の会議資料を確認いたします。</p> <p>事前に、本日の資料として、会議次第、その次に委員名簿、A3横の食育推進事業評価表、A4サイズの広報誌掲載計画が一連の資料としてお配りをさせていただいております。また、新規の委員の方には、第3次食育推進計画書と、その概要版をお送りさせていただいております。また、配席表を本日、机上にお配りをさせていただいております。ご案内を申しあげました書類が欠落しておりましたら、お申し出をいただきたいと存じます。よろしいでしょうか。</p> <p>なお一部、会議資料の修正がございますので、申し訳ありませんが後程、ご説明をさせていただきます。</p> <p>それでは次第の3、これより議事に入ります。議事の進行につきましては、条例第7条第2項の規定によりまして、会長が議長になるとございますので、酒井会長をお願いいたします。</p> |
| <p>酒井会長</p>  | <p>それでは、次第に従いまして議事を進めて参りたいと思います。ご協力よろしくお願いいいたします。</p> <p>議題（1）の「第3次みよし市食育推進計画及びみよし市食育推進会議の概要について」事務局より説明をお願いいたします。</p>  |
| <p>岡本副主幹</p> | <p>それでは議題（1）第3次みよし市食育推進計画及びみよし市食育推進会議の概要についてご説明させていただきます。産業課の副主幹の岡本と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>すみません、議題の説明に入る前に、先ほど申しあげました資料の訂正が3点ほどございますので、申し訳ありませんが、こちらから説明させていただきます。資料の右肩に別紙1と書いてあります、食育推進事業評価等、こちらの1ページ目、通番の5番の令和4年度計画のところなんですけども、新型コロナウイルス感染状況にとって、実施を検討とありますが、申し訳ありません。こちらが、新型コロナウイルス感染状況によって実施を検討、というふうに修正していただきたいと思ひます。続きまして2点</p>   |

目、同じ資料の6ページ、通番43番、アグリスクールはぐくみの会の欄でございますが、今後の事業方向性というところで継続となっているんですけども、令和3年度末でアグリスクールさんが解散ということになっておりますので、申し訳ございませんが、こちら廃止というふうに訂正させていただきます。最後に、8ページの通番61番、総合福祉フェスタですが、こちらの令和4年度計画が新型コロナウイルス感染防止のため中止となっておりますが、総合福祉フェスタ自体が廃止となっておりますので、新型コロナウイルスの影響で中止ということではなく、また今後の事業の方向性についても、継続となっておりますか、廃止ということで訂正をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは議題の1の説明に入らせていただきます。第3次みよし市食育推進計画は、第2次計画の進捗状況を分析し、実情に沿った食育施策を計画的に推進していくため、令和元年度から令和5年度までの5年間を計画期間として平成31年3月に策定しました。

第3次食育推進計画の策定においては、第2次食育推進計画の内容を踏まえ、市民一人一人が自ら食を見つめ直し、健康的な食生活を培い、安全で無駄のない食の環境づくりや、地産地消を進め、これらを実践するための行動指針を定めることにより、市民の皆さんが生涯を通しより良い食生活が築けるよう、更なる食育の推進に取り組むこととしております。

また、第3次食育推進計画においても、『食を通した「人づくり」「健康づくり」「環境づくり』を基本理念とし、3つの基本目標、市民の行動指針や目標値などを定めております。

第3次食育推進計画概要版、1ページをご覧ください。第3次食育推進計画策定時に実施したアンケート結果で出てきた課題、「朝食の欠食者割合の増加」「食事の栄養バランスに気をつけている人の減少」が示されています。

2ページでは先程申し上げた基本理念を、また基本目標として『「人づくり」食の大切さや楽しさが分かる心豊かな人を育てる』『「健康づくり」食を通して健康な体を育む』『「環境づくり」食に関する環境を整える』の3つを掲げております。

3ページでは、市民の行動指針として3項目、

- ①「食育ははじめの一歩」を踏み出そう
- ②望ましい食習慣を身につけよう
- ③食への関心を高めよう

を合言葉に、食育について具体的に取り組む際のキーワードを示し、市民一人一人が日常生活の中で意識し、自ら行動していくことを推進していくこととしております。

4 ページでは、0 歳から 5 歳頃までの乳幼児期から 65 歳頃からの高齢期までの 6 つのライフステージごとに、重要なテーマを明らかにし、効果的に取り組んでいくこととしております。そして、5・6 ページではライフステージ別の取り組みを定めています。7 ページでは基本目標ごとの目標項目と目標値を表記しております。家庭や学校などの関係各団体において、計画期間中に様々な取組を行っていただくことにより、令和 5 年度までに達成すべき具体的な数値を掲げております。なお、各目標の取組事項の内容の詳細は、第 3 次食育推進計画書本編 41 ページから 68 ページに掲載しておりますのでご確認ください。以上が第 3 次みよし市食育推進計画の説明となります。

続きまして、みよし市食育推進会議の概要について説明させていただきます。

この食育推進会議は平成 19 年から施行しました「みよし市食育推進会議条例」に基づいて設置する附属機関です。条例の条文について、第 3 次食育推進計画書の 79 ページ、80 ページに掲載してありますのでご覧ください。

この条例には、第 2 条で会議の所掌事務を「食育推進計画の策定とその実施を推進すること」としており、本日の会議においては、第 3 次食育推進計画の推進と実施についてご協議いただくこととなります。

第 4 条で会長を副市長に、第 5 条で委員について「食育に関して十分な知識を有する者」「市内に住所を有する者等」としており、委員任期を 2 年とし委嘱させていただいております。

食育施策は、家庭を中心とし、保育園・幼稚園、学校、地域、農業団体、事業所、行政などが、それぞれの役割や特性を活かしながら、互いに連携、協力して事業展開をしていくことが重要であると考えております。

第 3 次食育計画推進のため、食育推進会議において関係各団体の代表や学識経験者などの皆さんに委員としてお集まりいただき、様々な立場での活動状況やご意見をいただきながら、更なる食育施策の推進を図ってまいりたいと考えております。よろしくお願いたします。

以上で議題 (1) の説明を終了します。

酒井会長

それでは、ただいま説明のありました計画や概要について何かご質問、

|             |   |
|-------------|---|
| <p>出口主事</p> | <p>ご意見等がありましたらお願いいたします。</p> <p>(質問、意見なし)</p> <p>続きまして議題(2)のみよし市の食育推進に関する取り組み状況について事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>それでは議題(2)、みよし市の食育推進に関する取り組み状況についてご説明させていただきます。産業課の出口と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>資料の別紙1「食育推進事業評価表」をご覧ください。こちらはみよし市の食育推進に関する取り組みの状況となります。第3次みよし市食育推進計画に掲げられている「具体的な取組」を実施している団体に対して、令和2年度の実施状況と令和3年度の実施計画を聞き取ったものとなります。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの人が集まるイベントや食事を伴う活動など21事業が中止となりました。一方で、保育園・幼稚園や小中学校での給食を通しての取組や、農作業体験等の三密を防ぎながら屋外で行える取組など、66事業は継続して実施、また、参加人数を少なくしたり、材料やレシピを配り、自宅で調理するなど、内容を変更して実施した取組は24事業あり、合計111の事業となっております。</p> <p>今年度につきましても、新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第での実施を検討している事業が多く見られます。今までの形での事業実施だけでなく、工夫を凝らした事業が実施できるよう、事務局としても実施団体に情報提供するなどさらなる食育活動の推進を目指していきます。</p> <p>以上、食育推進に関する取り組み状況の説明となります。</p> |
| <p>酒井会長</p> | <p>説明が終わりました。ただいまの説明に対してご意見ご質問等どうでしょうか。</p> <p>(意見、質問なし)</p> <p>それでは続きまして議題(3)食育推進に関する周知啓発活動について事務局より説明をお願いいたします。</p>   |
| <p>出口主事</p> | <p>議題(3)食育推進に関する周知啓発活動について説明させていただきます。</p> <p>資料の別紙2、15ページをご覧ください。広報みよしに掲載する「我が家 de 食育」の令和4年度掲載計画です。「我が家 de 食育」では、学校教育課、給食センター、健康推進課、市民病院及び産業課で担当の月を決め、</p>   |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>各課で実施している食育の事業内容などを年6回、偶数月の広報で記事を掲載します。続きまして、16ページは、みよし市産業課のホームページ内にあります食育ホームページの更新計画となります。市内の食育に関する活動取材させていただき、こちらも年6回更新し、啓発に努めていきます。</p> <p>17ページ以降に、昨年4月から今年6月までの「我が家 de 食育」の記事を掲載しております。お手元の資料では、白黒印刷となっておりますが、実際はカラー印刷となっております。こちらホームページ内の広報みよしのページに掲載してありますので、よろしければご覧ください。</p> <p>以上、周知啓発活動についての説明となります。</p> <p>説明が終わりました。ただいまの説明に関して何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>(意見、質問なし)</p> <p>全体を通じての御意見、御質問でも何かありましたらお願いいたします。</p> <p>(意見、質問なし)</p> <p>それでは次に議題(4)としまして食育推進に関する意見交換の場を設けさせていただいております。食育に関する最新情報ご意見等をいただきたいと思いますが、何か御意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>特によろしいですか。それでは私の方から指名させていただいてもよろしいでしょうか。それではですね、食生活健康推進委員会代表の根岸様、いかがでしょうか。</p> |
| 酒井会長 | <p>食生活健康推進委員会の根岸といいます。</p> <p>私たちとしては、市民向けの調理実習をやっていたんですけども、昨年全くできなかったのも、そのあたり何かこう発信できないかということで、去年は意識づくりということでバランスのとれた、簡単なレシピを作りまして、今保健センターの方に自由に持ち帰れるようにしてあります。今年度もそれを引き続きやって、また来年度から調理ができればいいなという準備段階です。特に健康推進に関して今、意見を持ち合わせていないのですが、私の今の事業の現状をちょっとお話をしていた</p>  |

|             |   |
|-------------|---|
| <p>酒井会長</p> | <p>できました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。他にどうでしょうか。</p> <p>(奥村委員 挙手)</p> <p>では、お願いいたします。</p>   |
| <p>奥村委員</p> | <p>天王小学校の教頭の奥村と申します。お願いします。</p> <p>この別紙1の評価通番の7ですね、令和3年度の実績のところを見ると、全国の学力・学習状況調査により、市内の小学校6年生と中学校3年生の朝食の喫食状況が、毎日朝食を食べている割合が県や国と比べ低いということが、ちょっと残念だなというふうに思っております。</p> <p>で、今が、本当に家庭によって、お昼の給食がもう最大の栄養源になっている子供もいるなというふうに思っている中ですがけれども、家庭科の授業がコロナということもありまして、1人で1つ作るということをしていまして、本当に、それぞれの子が野菜炒めですとか、いろいろな調理の仕方を覚え、家でもやってみようというふうに言って帰っていくということを聞きました。</p> <p>他にももしもこういうこと等をしてなかなか家庭にどうこうしてってことは難しいかというのありますので、それぞれの特に高学年の子供に対してこういう働きかけをしていくと、ちゃんと朝昼食べるんだよとか、なんかこういった働きかけでいいアイデアがあれば教えていただきたいなと思います。もうすぐ夏休みに入ることもありますので、教えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>酒井会長</p> | <p>ありがとうございました。今の御意見についていかがでしょうか。他の御意見でも結構ですがいかがでしょうか。</p> <p>(意見・質問なし)</p> <p>それではですね、いろんな御意見等があると思いますので、学識経験者の小川教授、全体を通して何かございましたらいかがでしょうか。</p>   |
| <p>小川委員</p> | <p>名古屋短期大学の小川でございます。子供の食とか栄養学を専門にしております。</p>  |



ただいまの小学生の欠食だったり、そういったあたりをさせて、どうしていくかっていう具体的な提示が必要かなというふうに思ってたんですけども、本来ならば、学校で調理実習なんかやって、その調理のスキルを高めて、そして自分でつくれるようになっていうのはそんなふうにしたらいいんでしょうけれども、なかなかそういうことができにくくなってきているような、そういう状況だと思うんですけども、私も大学で学生さんたちに、子供の食と栄養ということで、子供のお弁当が作るということをやった時にこんなことをやってみたんですけども、Teams っていうのを使ってるんですけど、オンラインで、それぞれのうちで、これ作りますってこんなお弁当を作りたいんですけどというふうに皆言う話をして、実際作ってできたら、こんなのできましたって言って、それで、ここ、苦労しましたみたいなことをね、お話をするってことをやったんですね。で、それはそれでなかなかね、普段よりもちゃんとかう、自分でちゃんと作ってそれをみんなに見せるっていう機会があるので、小学生でも今まで、GIGA スクール構想で全員がタブレットを持っておりますから、そんな取り組みをしていただいたりだとか、今コロナ禍で、デジタル技術を応用したデジタルトランスフォーメーションとまで言えないかもしれませんがそんなことができいくんじゃないかなとも思いましたし、それから幼稚園の園長の兼務しております、幼稚園の登園自粛とか、そういうことになってきたときに、幼稚園の子たちをZoom で家庭を結んで、もうそれこそ、オンラインしりとりとかオンラインでつながってそんなことやったんですけど、どれくらいの年代でもそういう、集まらないんだけど、そんなふうにデジタル技術を応用っていうことじゃないですよ。スマホ一台あれば、誰とでも映像と音声でつながれる時代になってきている。彼らに対してはそういう切り口でいくっていうのはありなのかなって思っ

そういう中で、なかなかやっぱレシピを作って、紙で配るって言うてもなかなか読んでくれないみたいなどころがあるので、一方通行で動画っていうのもありなんですけど、動画は動画で溢れてっていうことなので、双方向でやりとりができるっていうこと、つまり、みんなに集まってもらって、これを作らしようって言って調理実習は今なかなかできにくくなっているんだけど、それに代わるものとして、双方向で繋がり合えるような、IT ソフトなんかを使っていただいて、工夫ができないかな、そんなことを、今のお話を聞きながら思いました。

加えてマイクを持たせていただいているついでに、あと一つ二つ話をさせていただこうかなと思うんですけども、先週の土曜日、日曜日、

18日19日に愛知県で食育推進全国大会というのが開催をされました。スカイエキスポというすごく大きな国際展示場で、私も出かけてきたんですけどもすごい人でごさいます、食育推進全国大会は、全国持ち回りでやっていって、今年17回目で2年前に愛知県が予定されていたんですけど、コロナ禍で中止になったのですが、もう1回愛知県が再チャレンジして、今回やりますということで開催をされたわけなんですけれども、チョコちゃんがステージに登場したりして、結構な人手だったんですけども、180ぐらいの食育のブースを会社だったり各団体だったりが出しておられたんですけども、もう非常に各団体が工夫をしてですね、いろんな取り組みを、あるいは食育の取り組みをやってたということがよくわかりました。全部は回りませんでしたけれども100以上の物は私も、いただいてそれぞれの取り組みを見せていただいたり、いろんな試食させていただいたりしたんですけども、全国ですごく頑張ってもらってるなってそういうことを見ながらいろいろ参考になりました。

その中で、私がとても注目したのが、東京の墨田区です。墨田区は7年前に、全国食育推進全国大会をやったんですね。通常、全国大会は県がやるんですけど、墨田区って特別区とはいえ、人口25万の墨田区が全国食育推進大会をやったわけなんです。で、それで、7年前にあって、それから毎年この食育推進全国大会に墨田区がブースを出していて、やっぱり今回、愛知県の中にもブースを出していて、やっぱりこう展示を見せていただくと、区として本当にこう頑張ってもらってるなっていうことがわかって、全国大会終わったらおしまいみたいな県もあったりするんですけども、墨田区は本当にこう、地道にやっておられるなということのを思いましたし、ただ食育ってということだけではなくて、その食育で区民を幸せにしたいっていうそういう思いが非常に溢れている、そういう展示だったので、それにはとても感動といいますか、こういう取り組みをしてみるところもあるのだな、ということで勉強させていただきました。

それから、これは余計なお話なんですけれども、1週間ぐらい前からこんなニュースが出ておりました。名古屋駅前の植え込みのところに近くに住んでるおじいさんが、そこを耕して畑を作って、野菜を植えてしまった。それを市の職員が見つけたらこれを撤去してくださいって話になったけど、市長がちょっと待てと、収穫するまで待ってみたら、そういう形になったんですけどね。その話を聞きながら、保育園とか幼稚園とか学校でね、花壇を野菜畑なんかにしてるわけなんですけれども、それはそ

|             |  |
|-------------|--|
|             | <p>れでとても貴重な食育の機会になるんだけど、名古屋駅前のあんな場所に野菜畑があったら私がすごいいいなと思うし、心が和むし、なんかそんな取り組みっていうんですかね、空き地を近所の方で、農業好きで野菜づくりのボランティアの方だったりに作ってもらってというのはありかなと思って、どっかの新聞社がそこを作っておじいさんを見つけ出して、インタビューしたら別に収穫を目的としているのではなくて、これを作ることによって、通る人の心が和めばと思って作ってるみたいな、そんなことをおっしゃっていて、いっぱい空き地があって、そんなところに野菜が植わってるっていうそういうふうなもうなかなか面白いなと。それ以上何か具体的な提案に繋がるわけではないんですけど、何か面白いことができるかもしれないな、そんなことを感じさせられたということです。すいません長くなりましたけども色々な話をさせていただきました。</p>  |
| <p>酒井会長</p> | <p>ありがとうございます。先生の御意見をいただいたわけで、それに対する何か御意見とかいかがでしょうか。</p>   |
| <p>原田次長</p> | <p>すみません、事務局からでもよろしいですか。<br/>さっき墨田区の事例のご紹介があったんですけど、いろんな政策をこうやられてる、その中でも先生から見て特徴的なものって何かございますか。</p>  |
| <p>小川委員</p> | <p>食に関わる企業、グループで忘れちゃったけれども、そういうグループみたいなものを作って、継続的に活動してらっしゃって、様々なイベントだったり、広報、やっぱりそれを継続的にやってらっしゃるんですね。どうもそういうのがいっぱいあるみたいで、行政がやってるもの、そして、各団体が集まった、何とか委員会みたいなものが自主的に活動している。それぞれが会費を5000円ぐらい出して、それで、広報誌を作ったり、イベントをやったりっていうことをずっと続けてらっしゃって、そういう中で、そういう食に関わる会社であったり、あるいは学校であったり、そういったところが横に繋がって、この食育を推進していると、そんなあたりを継続的にやってらっしゃるのはすばらしいな、そんなことを思ったところです。みよし市の場合も、たくさんの食育に関わる団体だったり、先ほど資料1でご報告いただいたようにやっていたいてるんですけども、横に繋がるような、食育推進会議の回数的にも厳しいですが、横の繋がりができるといいかなと、そんなことを墨田区</p> |

|             |   |
|-------------|---|
| <p>酒井会長</p> | <p>の取り組みを拝見して思ったところでございます。以上です。</p>   |
| <p>兼平委員</p> | <p>ありがとうございました。他にはよろしいですかね。続きまして、学識経験者の兼平先生より、よろしく願いいたします。</p> <p>東海学園大学の兼平と申します。</p> <p>私が本母校の方では、臨床栄養学ということで、いかに健康を保つのか、どのような栄養管理が必要なのかということ、学生に話しさせていただいております。</p> <p>その中でですが、全然違うんですけども、申し訳ございません。期待を大変込めて、どんなふうになるかなというふうに私の方が思っておりますけれども、この第3次の部分の計画を作る際に、調査をなさった園児、小学校2年生、また小学校5年生、中学2年生なった方たちが、もう5年後の今回の部分で、どのような形になるのかというところ、例えば食育推進事業で、実際対象として多くやられているのが、園児だったりとか、小学校であったりというところの活動が大変多いなというふうに思っておりますので、その子たちがどのような形になるのかということで、朝食の欠食率から、減っているんじゃないかな、栄養のバランスに気をつける人たちが多くなっているんじゃないかな、これだけ地道に継続的に活動なさっているというところでは、その数字が、今回の時には、出ることを期待したいなというふうには思っております。</p> <p>具体的にどのような活動をしたらいいのかという具体的な意見は、正直言って持ち合わせておりませんが、SDGsってところを考えてみますと、パンフレットだけではないやり方を少しずつ考えていかなければと思います。紙ベースの大切さは残しつつ、それにこだわらないやり方も並行して考えていくといいんじゃないかなということと、また先生の方から少しお話いただきましたけども、横の繋がりですね。こんなにたくさんのグループがあって、こんなにたくさんの活動なさっている、重点項目の部分、いかにこの1年で重点項目に関してのところを、ちょっと垣根を越えた活動ができるといいなというふうに、私自身は思っておりますが、何度も申し上げますけれども、具体的にどのようなところが、提案できないのが、悔しいなと思ったところです。</p> |
| <p>酒井会長</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>今先生の、ご意見ご提言に対してまた何かご質問だとか、何か事務局</p>  |

|      |  |
|------|--|
| 兼平委員 | <p>の方から回答があるとかそういったあたりどうでしょうか。</p> <p>ごめんなさい、何度もホームページをよく見るようになったんですけども、大変明るくて、みよし市のホームページってとってもいいなというふうに感じております。また、この地域の農作物、継続しておやりになっていらっしゃると。調理実習の部分については確か、普段の影響というところで、なかなか実践ができないけれども、作物を通してという活動は、実際令和3年度でも実施されていまして、そことうまく何か結びつけられる計画ができるといいなというふうに感じております。</p> <p>ありがとうございました。<br/>今のご意見も含めて、どうでしょうか。</p> <p>(辻委員 挙手)</p>   |
| 辻委員  | <p>ちょっと繋がっているかどうかというところはあれなんですけれども、明知保育園園長の辻と申します。</p> <p>保育園の方でもずっと、食育活動で園でいろんなものを自分たちで作ってきたんですけど、本当は随分前の、0-157 でかなり制限がかかり、また今回のコロナでかなり制限がかかり、ほとんどできない状態になってきているんですけども。野菜を調理してもらってその自分たちで食べるところで、とても喜んでいて。年長さんが水やって一生懸命育てて、それを年少さんが見て、同じように、状況見ながら水をあげて、野菜作ることが食育に繋がるということが今も継続ができてるかなあとこれが本当に、また元に戻ってというか、実際に作って食べることができるといいなと思っています。</p> <p>それとは別なのですが、最近子供たちに好きな食べ物なに？と聞いたときに、一番にきゅうりの丸かじりっていう子がいて、それに続いてやっぱり野菜がたくさん出てきて、明知っていう土地柄なのか、本当に、採りたての美味しい野菜を食べてるんだなっていうのをすごく感じています。また、虫歯が少なくて、この辺が本当にそういうことも繋がっていくのだなと思います。本当においしい新鮮なものを地産地消していくともっと野菜を好きな子たちが増えていくといいなと、園でもお話しさせていただきたいなと思いました。</p> |

|      |   |
|------|---|
| 兼平委員 | <p>朝食にお野菜を食べる割合が少なかったような気がするんですけども、これだけ農作物というところにおいて豊富な環境にある中で、朝食に少ない、これを昼も夜も少なかったというわけではなかったんですが、朝食に少ないというところありましたよね。朝食で野菜の摂取量が少ないっていう結果だったのが、みよし市のところであったような気がしますので、例えば、せっかく豊富にあるお野菜、朝に食べましょう運動とか、勝手に今ひらめいただけなんですけれども、具体的にわかりやすく動けるといいなと思います。</p>   |
| 酒井会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>先生のご指摘のところは78ページのところですかね。朝食に野菜を食べている小中学生の割合ってというのが、項目の上から二つ目のところの小学生5学年、中学生2学年の目標が80%以上というところかなと思いますので、80%以上がいいのかどうかっていうのは、まだいろいろ議論はあるでしょうけども。</p> <p>どうでしょうか。他にはよろしかったでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(小川委員 挙手)</p>  |
| 小川委員 | <p>何回もマイクをいただいてすみません。先ほど辻先生のお話で、一生懸命栽培していただいている、保育園幼稚園も変わってきてとてもすばらしく、ところが、園で調理ができない、ぜひ子供たちにおうちで持って帰ってもらって、そしておうちのお母さんたちと一緒に作ってもらってというそういう提起っていうんですかね。結局、園で頑張って食育をするのはとってもいいんですけども、家庭を変えるというきっかけに園での食育の取り組みをしていただくっていう方が、将来にわたって効果的な気がするんですね。ある意味ではそのきっかけ学校ではそのきっかけを、与えていただくのはどうかなってそんなふうに思います。</p> <p>私が経験した中で、少し面白い話があるんですけど、沖縄の保育園では、母の日に、子供たちが育てたネギをプレゼントしてるんです。牛乳パックだとアレルギーがある子がいるので、ジュースのパックの中でネギを育てる、ネギって言っても球根性のネギなんです。で、母の日に「お母さんありがとう」ってプレゼントする。そうするとうちに持って帰ってお母さんは、多分おうちで子供と一緒に並んで台所に並んで立って、いろんな料理に入れたりすると思うんですね。それをきっかけに、話が広がってきたりするというわけですね。母の苦労を労うということ</p> |

ではないんですけど、そういう、つまり子供も学校だとか、保育園とか幼稚園で、子供に、ある意味食育の武器っていうとあれですけど、調理器具だったり、食材だったり、それをおうちに持って帰ってもらって子供の力で家庭を変えていただく、というのはどうかなということで。結局、この朝食に野菜が少ないですって例えば子供が少なくしてるわけではないんですよ。これを変えることにはいけないんで、やっぱり子供が、「お父さんお母さんこれ作って」、「野菜いっぱい朝ご飯作って」というふうに言わせるような、そういう仕掛けっていうんですかね。それを学校から家庭に向けて発信していただくと、いうことがあるといいのかなっていう思いました。

酒井会長

貴重なご意見ありがとうございました。他にどうでしょうか。

(小野田委員 挙手)

小野田委員

農村生活アドバイザーの小野田と申します。よろしくお願ひいたします。

先ほどの、地産地消で農作物のことでちょっとお話があったと思いますけれども、私の場合、今回7月、毎年行っておりますが、畑で今の時期、トウモロコシの収穫祭というのをしております。トウモロコシ畑を迷路のような形にして、自分たちで何本か取ってもいいよってということで、親子で体験をさせていただいて、時間とあと組数をきちんと決めて、入っていただいて、もぎり取ってどうやったらトウモロコシが取れるか、或いはトウモロコシの中でも、すべてがスーパーで売ってるように、すべて綺麗なトウモロコシはないんですよ。で、やっぱり虫も食いたい時期なので、半分以上虫が食ってるというトウモロコシもあってってということで、それらを見てもし虫が入ったら私たち役員がはさみを持って、そこを切り取ってここさえ取ればとてもおいしいから、後はおうちへ帰って茹でて食べてねってということで、ゴミも出ないように全部葉を取って袋詰めをしています。あとは、本当はその場で食べるような新鮮なトウモロコシだよってということで、親御さんでそういうことを知っている方は子供と一緒にちょっととったばかりの甘いトウモロコシを試食したりしています。

最近親御さんを見ている、このトウモロコシの収穫でこういったものをしますよってというふうで説明してもやはり、長靴を履いてくる、半袖・タンクトップを着てくるけど虫よけスプレーが欲しいだとか、そう

いうことを言うてくる親御さんもみえるので、親にもちゃんと畑に入るのはどうしたらいいか、虫ももちろんいるし、トカゲやカエルもいますのでね。何かそういったことに関して、私たちも告知がうまくできてないもんですから、あんまりすべて満足する人数が毎年いらっしやるわけじゃないんですけれども、本当にその現場で、野菜が食べれる、安全に食べられるってことを教えてあげたいです。

6月が食育の月間ということで、広報におこしものづくりがちょっと書いてあったものですから、一言付け加えさせていただきたいんですが、私は、南部小学校で3世帯事業という行事ってということで、年に1回、親子だけじゃなく、おじいちゃんおばあちゃんも含めてということで、おこしものづくりの講師をさせていただいています。その中で、やはりおこしものっていう米粉を使って、米粉を練って、お餅ではないんですけれども、これを蒸してあとはラップをして、冷凍庫に入れておけば、いつでもお米の代わりとして、それを、砂糖醤油をつけたり、或いは、ちょっと焼いてみて食べてみれば、例えばお母さんが朝忙しくてご飯を作れなくても、おこしものを自分でレンジでチンとすれば、あとは自分で食べて、お米替わりにご飯として食べて学校に行けるよっていうふうで最後にお伝えすると、子供たちだってこれお米なのっていうふう、お米と米粉にしたものをちゃんと最初にさわらせて練って、それからおにぎりの代わりではないんですけど、お米には変わりないよということでお伝えすると、実際、校長先生の方から、そういった子供が自分で電子レンジで温めてご飯食べたよっていうことがありましたよってことを聞いてちょっと、こういったこともされてもよかったのかなっていう思いました。なので皆さん簡単なので、ぜひ作っていただければなと思います。以上です。

酒井会長

貴重なご意見ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

(意見・質問無し)

ありがとうございます。何か食育推進に関する意見や情報がございましたら、今後の食育推進の参考とさせていただきますので、事務局までお気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。

また、委員・助言者各位におかれましても、それぞれのお立場で、食育推進にご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。以上で、予定していた議事等はすべて終了いたしました。これをおもちまして議長の職



|             |   |
|-------------|---|
| <p>原田次長</p> | <p>をおりて、進行を事務局にお返しさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>本当に貴重なご意見、たくさんいただきまして、大変ありがとうございました。今回いただいた意見は、ぜひ今後の食育推進事業に取り入れ、生かしていきたいと考えております。本当にありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、みよし市食育推進会議を終了させていただきます。皆さま、御起立をお願いいたします。一同礼。ありがとうございました。</p> |
|-------------|---|

